



セネガルの子どもたちに教育を！

バオバブの会 ニュースレター

2016年 NO.6

(通巻48号)

12月18日発行

2016 年もあとわずかとなり、皆様方には何かとお忙しくお過ごしのことと思います。
今年度最後のニュースレターは、秋・冬の活動の報告を中心にお届けいたします。
お陰様で、バオバブの会は今年度も多彩な活動を展開することができました。
2017 年度も、より一層のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。
厳しい寒さが続いております。どうか、体調に気をつけられ、お元気で新年をお迎えください。

活動報告

★★★ よこはま国際フェスタ2016 ★★★ <http://yokohama-c-festa.org/>

日時：2016年10月8日（土）～10日（月・祝日）10:30～16:00

*バオバブの会は9日（日）、10日（月・祝）に出展

会場：グランモール公園 美術の広場

主催：よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会 よこはま国際フェスタ 2016 プロジェクト

毎年恒例のよこはま国際フェスタに、今年もバオバブの会は食販コーナーに出展。酸味のあるチキンシチュー「ヤーサ」、ピーナッツソースのビーフシチュー「マーフェ」、ドーナッツ「ベニエ」、セネガルスタイルのミントティー「アターヤ」を販売しました。お昼どきには行列ができるほどどれも好評で、両日とも完売しました。

★★★ 福引き2016 & バオバブパーティー2016 ★★★



募金活動の一環として隔年で行っている「福引き」とその抽選会を兼ねたバオバブパーティー。今年は福引券約200枚を各方面の皆様にご購入いただき、パーティーには70名の方々にお越しいただきました。

12月4日、浜松町のアフリカンレストラン「カラバッシュ」で開かれたパーティーは、まずはセネガル料理の食事からスタート。前回（2014年）に引き続き、今年も会長の友人で料理名人のアブドゥ・ンジャ

イさんが料理を担当。今回の料理は野菜もチキンもたっぷり入ったヤーサ（酸味のあるシチュー）の豪華版で、セネガル式にご飯とともに大皿に盛って提供しました。ヤーサは初めてのお客さんも多くいらっしやいましたが、あちこちで「おいしい！」の声が上がっていました。

続いてはディウフ会長による支援報告とミニセミナー「セネガルのイスラム」。ムスリムのおじいさんとクリスチャンの若者たちとの交流の話や、サンタクロース姿のムスリムの写真などを通して、セネガルでは異なる宗教も平和に共存していることをお伝えしました。途中、会長の友人ウセイヌ・ジャーニュさんの飛び入り解説も。食事をしながらのセミナーだったにも関わらず、「え〜っ?」「へえ!」と声上がるなど、皆さん強い関心を持って聞いてくださいました。

一段落したところで福引き抽選会。当選者の名前と景品が発表されるたびに場内から歓声が。当たった太鼓をさっそく叩いている子どももいて、終始にぎやかな抽選会となりました。

ラストはワガン・ンジャイ・ローズさんとボガ・ンジャイさんによるミニライブで、会長もボーカルで参加！ セネガル人のお客さんがステージ前に踊り出ると、つられて日本のお客さんたちも踊り出し、セネガル風に投げ銭も行われ、大盛り上がりとなりました。

◆◆◆ ワールドフェスタ i n もえぎ ◆◆◆

10月16日（日）、相模原市立もえぎ台小学校で、同校のPTA主催イベント「ワールドフェスタ i n もえぎ」が開催されました。ディウフ会長は、セネガル代表として、パキスタン、ネパール、中国、サウジアラビアの人々と共にブースを設け、手作りのパスポートを持って各ブースをまわる子どもたちに、セネガルの言葉や文化を紹介し、交流を楽しみました。

◆◆◆ アソシエーション・リサーチ ◆◆◆

12月14日（水）、横浜駅西口からほど近い私立神奈川学園に於いて、アソシエーション・リサーチが開催されました。これは、「国際」の学習の一環として、横浜を中心に、国際的な問題に取り組む組織・人々（アソシエーション・メンバー）を招き、生徒たちが、社会とは何か、自分には何ができるのかを考える機会とするものです。ディウフ会長は10人の講師のひとりとして招かれ、セネガルの紹介、横浜で暮らし、またバオバブの会の活動を通して学んだこと、生徒たちに臨むこと（「横浜から世界に何ができるか？」を考える）を語り、紙芝居「みんなつながってる」を上演しました。

お知らせ

☆☆☆ よこはま国際フォーラム2016 ☆☆☆

<http://yokohama-c-forum.org/wpforum/>

日時：2017年2月4日（土）・5日（日） 11:00～18:00

会場：JICA横浜

主催：よこはま国際フォーラム2016プロジェクト

(主催者構成団体：(特活) 横浜NGO連絡会/JICA横浜/公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)/日本赤十字社神奈川県支部/(特活) 教育支援協会)

※バオバブの会のセミナーは5日(日) 15:20~17:10(途中10分間の休憩あり)

4階のセミナールーム「いちょう」にて。

国際協力・多文化共生に関わる団体がセミナーやワークショップを開く、毎年恒例のフォーラムです。バオバブの会は、「イスラムの人権と女性」をテーマに、ディウフ会長が講座を行ないます。詳細は次号のニューズレターにてお知らせします。

★★★★ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ★★★★★

第21回 もう一度感謝

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

(訳・文責 水野)

「犬は主人に感謝の気持ちを伝えたいとき、尻尾を振る」ということわざがあります。このことわざは、以前にも、このコラムの中で「感謝」について扱ったときに紹介したように思います^{注1}。去る12月4日日曜日、福引き2016のしめくくりとしてパーティーが開催されましたが、その閉会の際の私の振る舞いは、まさにこの犬と同じものでした。

私の心は感謝の気持ちで一杯でした。なぜなら、会場のどこにも、とても懐かしい顔、一緒に活動し楽しい時間を過ごした顔、友情と親愛にあふれた顔…を見ることができたからです。ここには、日本に来たばかりで言葉も文化も全く知らなかった外国人の私を、支えてくれた方々がいる。あそこには、日本の教育の原則もしくみも知らないまま子育てを始めた私を、助けてくれた方々がいる。私の子どもたちが小さいとき、彼らの教育に直接関わって決定的な影響を与えてくれた方々も。そちらのテーブルには、私の祖国セネガルを愛し、人々の暮らしをよりよくするために活動し、今も続けている方々がいる。そして、あちらにもこちらにも、バオバブの会の活動をともにする仲間がいる…

しかし、閉会の挨拶の際、私は、次のふたつの理由により、おひとりおひとりの名前をあげることはしませんでした。

ひとつめの理由は、セネガルのウォロフの人々の次のようなことわざによります。「*Ku lim juum* 人々の名をあげると、必ず誰かを抜かしてしまう」。つまり、もし私が参加してくれた方々の名をひとりひとりあげて感謝の言葉を述べたとしたら、意に反して、誰かを忘れてしまう危険がありました。名をあげた方々と同じように、大きな働きをしてくれた方にもかかわらず。すると、その方に、自分の貢献はたいしたことではなかったのだと思わせてしまったことでしょう。

ふたつめの理由は、それぞれの日本人の中にあるムスリムの心^{注2}が慎ましくあることを求めるので、もし他の人々のいるところで名をあげて感謝を述べられたら、当惑してしまうのではないかと思ったからです。

これらの理由に加えて、そのとき既に予定の時間を過ぎていたので、1分でも早く終了し、約束の時間に会場を出なければならないということもありました。そこで、私の思いの通りの強い表現をさせて、ただ尻尾を振るだけで感謝の気持ちを表す犬のように、簡単に「ありがとうございました」とだけ述べて閉会の挨拶としたのでした。どうか私の思いが皆様に伝わるように！と強く願いながら。

感謝の思いを十分に伝えることはとても難しいのですが、それでもなお、繰り返し述べたいと思います。近くからまた遠くから、様々なやり方で、私とバオバブの会の歩みを助けてくださっているすべての皆様に。様々なやり方。そうです。お金や物品や情報を提供して下さったり、実際に行動して下さる方々ももちろんですが、遠くから応援の心を送って下さる方々のことも忘れることはできません。そして、とりわけ、寒さをおして、また年末のお忙しい中、今回のパーティーにおこしになり、ヤーサとケンケリバを味わい、セネガル式の食事作法を体験し、セネガルの音楽とダンスを楽しむひとときをともに過ごして下さった皆様に。

本当にありがとうございました。

2016年ももうすぐ終わりです。皆様と皆様の近しい人々が、楽しい年末年始を過ごされるよう、また、来る新しい年が、より大きな平和と健康と幸福を皆様に運んでくれるよう、心よりお祈り申し上げます。

注1：2012年12月発行のニューズレターで、カメルーンの人々のことわざとして、次のような訳文で紹介しています。「犬はその主人に贈れるものがないので、尻尾を振る」。

注2：日本で暮らすようになって以来、私は、日本の人々の日々の生活の中での振る舞いを観察してきました。その結果、それぞれの日本人の中にムスリムの心が眠っている、と思うようになりました。日本の人々は、多くのムスリムよりも、ずっと良く、イスラムの教えを守っているように感じられます。ここでいうイスラムの教えとは「謙虚」です。イスラムは、「いたづらに目立つことなく控えめに振る舞い、常に謙虚であれ」と教えています。

バ オ バ ブ の 会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町 993 - 35

TEL&FAX 045 - 373 - 0059

HP : <http://the-baobab.org>

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座 no.1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215